

令和7年度

小・中学生フォーラム in 四谷小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

10月22日（水）、四谷小学校（四谷2-6、校長：石井正広）の6年1組28名、2組26名、3組27名、4組27名が「四谷の未来創造プロジェクト」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、児童たちは、子どもと大人がで話し合っ公園を作っていく取組や、電力会社の路上変圧器等に自作の安全マップを貼って注意喚起する提案、内藤唐辛子等の栽培をすることで、緑化による犯罪防止効果を生む提案など、四谷地域を取り巻く現状と課題について調べ、たくさんの提案を区長に行いました。

さらに、今回のフォーラムは、姉妹校である山形県天童市立干布小学校の6年生がオンラインで参観しました。区長だけでなく、大勢の方を前に、児童たちは、自信を持って堂々と発表していました。

区長は、児童たちの、みんなで話し合い、お互いに気を配りながらよりよい町にしていきたいという姿勢に非常に感激していました。最後に「四谷というまちをみんなが大好きで、これからもいいまちになってもらいたいと思っていることがよく伝わったので、その気持ちを持ち続けてもらえたらと思う。」と話がありました。

自分たちの住むまちについて考え、発信する良いきっかけとなる有意義なフォーラムとなりました。

